

岡崎市民病院 緩和ケア内科紹介

当院は、愛知県岡崎市にある高度急性期医療を中心とした地域の基幹病院です。2019年に愛知県がんセンター愛知病院と統合し、緩和ケアを含めたがん診療機能の充実に取り組んでいます。2020年に外来部門のがんサポート外来、2021年4月に緩和ケア病棟を開設し、緩和ケアの主要部門が整備されました。

緩和活動3つの柱： がんサポート外来、 緩和ケアチーム、緩和ケア病棟

1. がんサポート外来

がんの診断、治療中の外来患者の様々な症状の緩和、精神的な援助に取り組むとともに、自宅療養を希望する患者のための在宅連携や緩和ケア病棟への入院相談も行っています。

*2020年度外来数 261件/年

2. 緩和ケアチーム

緩和ケア医、精神科医、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーの多職種がメンバーとして参加しており、身体的・心理社会的な苦痛のコンサルテーションに対応しています。

*2020年度新規依頼数 228件/年



3. 緩和ケア病棟

全ての入院患者を緩和ケア内科が担当し、多職種チームで診療・ケアを行っています。終末期だけでなく、症状コントロールのための入院、在宅療養の準備のための入院、レスパイト入院なども積極的に受け入れています。

*2021年4月-7月新規入院数 平均20.5人/月



病室は、無料2人床が4床、有料個室が10床、重症個室2床、計20床あります。

緩和ケア実践研修のお知らせ

医師等を対象に緩和ケア実践研修を行っています。

研修期間、内容は希望に応じて相談します。

研修や見学のご希望の方は、右記までお知らせください。



kanwa@okazakihospital.jp